

介護支援機器の実践事例報告

モリトー社「つるべー」 アイ・ソネックス社「スカイリフト」

社会福祉法人豊年福祉会 特別養護老人ホーム天の川明星

介護主任 ト部 英明

令和7年12月3日

施設の概要

施設名：特別養護老人ホーム天の川明星（従来型）

所在地：大阪府交野市藤が尾2丁目5番22号

設 立：1997年7月1日

規 模：3フロア 入所55床 短期入所25床 計80床

介護度：平均介護度3.8

法人の理念

すべての人と共に健康で生きがいのある安心した暮らしを



導入機器の概要

▶ モリトー社「つるべ」



▶ アイ・ソネックス社「スカイリフト」



導入背景と目的

導入前の課題

- ・ 移乗介助時のご利用者、スタッフ双方の身体的負担
- ・ スタッフの体格差による介助の質のばらつき
- ・ 二人介助の必要性による人員効率の低下

目的

- ・ 身体的負担の軽減
- ・ 安定した介護の実現
- ・ 業務効率化

つるべの実践

- ・ 導入状況：4台（3フロアに配置）
- ・ 対象者：体格の大きい方、拘縮のある方（8名）
- ・ 使用場面：ベッド⇔車椅子の移乗
入浴時の移乗



つるべの実践

- ・導入状況：4台（3フロアに配置）
- ・対象者：体格の大きい方、拘縮のある方（8名）
- ・使用場面：ベッド⇔車椅子の移乗
入浴時の移乗



スカイリフトの実践

- ・ 導入状況：1台
- ・ 対象者：自力での立位困難な方
- ・ 使用場面：トイレ誘導時



導入効果 -スタッフへの効果-

身体的負担の軽減

- ▶ 抱え上げ動作の解消
- ▶ 腰痛リスクの低減

業務効率化

- ▶ 必要人数の削減
(二人介助→一人介助)
- ▶ スタッフ問わず介助が可能

導入効果 -ご利用者への効果-

- ▶ 身体的効果:
 - ▶ 身体的負担・痛みの軽減
 - ▶ 安全な移乗・移動の実現
- ▶ 心理的效果:
 - ▶ 安心感の向上
 - ▶ つり上げ時の声掛けによる落ち着いた対応
- ▶ リスク低減:
 - ▶ トイレでの転落リスク低減（スカイリフト使用時）

導入時の課題と対応

課題

- ・「時間がかかる」という抵抗感
- ・既存の介護環境への組み込みの難しさ

対応策

- ・トップダウンでの導入推進
- ・動線や離床時間の見直し
- ・段階的な使用拡大と成功事例の共有

導入後の目標

▶ 使用拡大:

▶ 対象者の拡大 → 各フロア1名から運用開始
慣れてくると自然と使用者増加に繋がった

▶ 使用場面の多様化 → 開始当初は離臥床で使用
その後入浴での運用も開始

▶ スタッフ教育:

▶ 新人研修への組み込み → 技術を習得できると安全に介助ができる

▶ 定期的な使用技術の向上 → 誰でも利用できるような運用を行った

まとめ

- ▶ 時間短縮には直結しないが、介護の質と安全性の向上に貢献
- ▶ スタッフの身体的負担軽減と業務効率化の両立
- ▶ 導入・定着には計画的なアプローチが必要
- ▶ 機器導入は目的ではなく手段であることを認識

ご清聴ありがとうございました